NTJU News

発行所：ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住　所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：山本　明広　　編集人：七里　大介

2021-No.10
2022年 3月22日

2022年総合労働条件改善闘争

速報③

CONTENTS

・No.2 縮小交渉
・No.3 縮小交渉

交渉はいよいよヤマ場 NTCJとして職場の頑張りと期待に報いる回答を

1　NTJU － NTCJ　No.2 縮小交渉　3月16日(水) 10時～

2　NTJU － NTCJ　No.3 縮小交渉　3月18日(金) 10時～

３月１６日（水）：Ｎｏ．２縮小交渉、３月１８日（金）：Ｎｏ．３縮小交渉を行った。労使双方が現時点での主張を行った。

＜初任給について＞

組合　初任給について、会社の回答意向を伺いたい。

会社　初任給については、水準引き上げによって企業の魅力そのものが向上する訳ではないものの、今後、益々産業・業種の枠を超えた厳しい人材獲得競争が予想されることも考慮し、判断していきたい。

組合　電機連合中闘組合企業の初任給は、労組の要求を上回る回答がある会社がほとんどだが、若年層を採用する上で、優位性の観点で課題ではないか。

会社　今回の回答内容や他社回答状況も踏まえ、若年層の本給と2023年度初任給について当社施策を示していきたい。

＜賃金について＞

組合　電機連合中闘組合企業の賃金改定は、前年を上回る回答状況である。そのことを踏まえて、賃金について、会社の回答意向を伺いたい。

会社　恒久的な固定費増につながり、会社の競争力に大きな影響を及ぼす賃金水準改善の回答は慎重にならざるを得ない。当社の経営状況を踏まえて慎重に判断していきたい。

組合　職場では１Q～３Qで黒字化を達成しており、売上も前年度１９％増加しているというポジティブな情報が共有されている。また、長引くコロナ禍の中で、会社が成長しているのは働くすべての従業員のお陰である。職場の頑張りは会社として評価していただきたい。社会的役割を果たすべく「人への投資＝賃金」をお願いする。

会社　職場の頑張りについては、感謝している。更なる事業成長・発展に向けて従業員が元気に事業活動に取り組めるために、今やるべきことは何かを考え判断していきたい。

＜一時金について＞

組合　一時金について、５．３ヵ月相当の要求通り、1年間の組合員の頑張りに対して回答いただきたいと考えるが、会社の意向を伺いたい。

会社　本年度の黒字化が見通せる状況ではあるが、国際情勢が更に不安定になっていることもあり、経営環境はさらに先行き不透明感が強くなってきている。将来、永続的に発展する為の当社としての打ち手を踏まえたうえで判断すべき。

組合　株式譲渡以降、経営基盤の強化など組合員が懸命に業務に取り組んできた結果、単年度黒字化を達成する見込みである。黒字化を達成するための組合員の頑張りを認めて頂きたい。会社としても、利益が出たときにはそれが還元されることを従業員に示すチャンスである。組合員の期待は非常に大きい。

会社　会社としても、従業員への頑張りと期待には報いたいと考えている。残り時間が少ない中ではあるが、引き続き論議していきたい。